

クラス通信

麻生本校・円山校 2021年 5月号

クラスユニック中学部

中高一貫コース 第3号 5.14発行

保護者の皆様へ

理事長・校長 福島 新四郎

この「クラス通信」を通じてクラスユニックとご家庭との連携を密にし、お子様の受験準備の一助となるようお願い、発行をしています。生徒の皆さんの成功を祈りつつ、時には辛口の内容もあるかとは存知ますが、意のあるところをお汲み取りいただき、とにかく「合格」の二文字を目指して指導します。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

円山校中学部の指導方針

円山校担当 井尾 敦



クラスユニックは、校訓「有志者事竟成」（しっかりとした志があれば必ず最後には成し遂げることができる）を意識し、大学受験を通じ、自身が描く将来像の実現、その前段階の職業観を持った進路選択に至る指導を心がけています。特に中学時代は小学部で培った学習への基本的な姿勢（学習の習慣と自立的な学習）を更に確固たるものにして、より多くの知識を学ぶと同時に、少しずつ将来の進路を考えていくことが重要です。

具体的指導内容と指導形態

今年度から新たに zoom ガイダンスに切り替えて情報の提供を開始しました。特に中高一貫校の中3生からは受信をお勧め致します。LINE登録の生徒さんにIDとパスワードをお知らせしています。ぜひ登録して下さい。内容は大学受験情報と進路（志）の2本柱で生徒の皆さんを指導しています。

また形を変えての取り組みとしては、「トップリーダーと学ぶ」「未来発見講座」という題材で、今、世界や日本で活躍している様々なトップリーダーの講演会を zoom で発信しています。様々なジャンルのトップリーダーの講演は必ず生徒が描く将来像、未来への夢に役立つものと考えます。4月は「クリエイティブAI（東北大学特任教授 森正弥）」「4Gから5G、そして6G（NTTドコモ執行役員 中村武宏）」などを放送しています。5月中旬には「世界から必要とされる人になるために（小児外科医 特定非営利活動法人ジャパンハート最高顧問 吉岡秀人）」を予定しています。一度ログインして見て興味がわかなければ切るということもできますので、まずは「視聴してみて」、と生徒に説明しています。

大学受験に現役合格するためには、いち早くスタートを切るのは言うまでもありません。円山校から最難関大学の合格者が毎年のように出ていますが、生徒の早期からの徹底した研鑽によるものです。学力は生徒の努力で培われるものです。予備校はそのフォローを惜しみなく続けることが大事であり、それが成功のカギを握ると認識しています。どのようにして自覚を促しつつ合格に導くか、長年積み重ねてきた進路情報や経験を駆使して生徒をリードしコーチングしていきたいと考えています。

中学1年生・2年生はまず学校の定期試験で成績順位を上げることを目的としています。勿論3年生も定期試験は重要ですが、中3生の場合同時に、模試成績から自分の学力レベルが全国の中でどの位置にあるのかを意識して、日々の学習に活かすことも大切です。この点については随時アドバイスしていきます。

円山校中学部では、以下の教育ツールを用いて各生徒の指導にあたっています。

- ① 東進中学NET
- ② 1:1の個人指導
- ③ 専任による「受験情報・志ガイダンス」（主に中3生）
- ④ 専任による「個人面談・三者面談」

<裏面に続く>

生徒の状況・目標を考えて、これらの中から選定し、学校の定期試験の成績向上に向けて指導しています。中高一貫の生徒は、中学3年生からは大学受験の学習へ入りますので、中1・2年生の学習の取りこぼしをいかに減らすかが重要となります。また成績や順位が上がることでモチベーションにダイレクトにつながる点でも定期試験は重要視しています。逆に高校生になると推薦・総合型選抜を選択しない限り模試の成績を重要視していきます。

麻生本校中学部の指導方針

麻生校小中学部担当 兵藤 晋平



4月から新年度も始まり、新しい学年がスタートしました。

当校での新学期も順調に1か月が過ぎ、ここで改めて新年度の指導方針や指導内容についてお話させていただきたいと思います。

1. 中高一貫校の学習と麻生校の指導方針

中高一貫校の学習ペースとしては、おおむね中学入学から高校2年生までの5年間で中学～高校内容の学習を終え、高校3年生になると入試に向けた学習にシフトしていきます。進度自体が公立校に比べると早いので、新1～2年生はまず、学習のリズム&習慣を身に着けることに主眼を置いてほしいと思います。

誰でも5～6年の長期的展望をいきなり明確に描くことは難しいでしょう。皆さんの受験までの期間を考えたとき、おそらくその時間はまだまだ遠い先のことのように感じるかもしれません。しかし、油断していて良い時間でもないことは確かです。

学校の学習進度に合わせて定期試験で得点することや、学校での順位を意識することも、特に推薦での大学入試を視野に入れるのであれば重要なことです。また、そもそもの進路希望（受験希望学部や文理選択など）について早い段階から考えることができることは中高一貫校の大きなメリットの一つです。そのうえで、現在の自分の学習定着度においてどこが不足し、どこを強化していきたいかを考えてほしいと思います。本人が進路を明確に自分の中に描くことができるようにサポートすること、また、その進路を着実に進むことのできるように力をつけさせていくことが、指導方針の根底となります。

2. 指導内容と教材

中高一貫校では学校ごとにカリキュラムが詳細に設けられています。まずは、その進度を徹底し、理解不十分な単元などを残さないことを意識した学習が重要になってきます。当校では、学校使用教材を念頭に置き、質・量的な補完を目標に教材を選択していきます。中学生の学年のうち英数の基礎部分をしっかり固めることが当面の課題になりますので、授業時間も英数を中心に組んでいきます。国語の読解力の部分も長期的な補強ポイントではありますので、定期的に演習時間を組んでいく予定です。理科社会に関しては、大学入試に向けて教科が細分化してからの学習が勝負になりますので、現段階では学校での定期試験をきっちり得点できるように復習ベースで学習していけば十分だと考えています。

末筆ですが、コロナ禍で大変な時代を生きることになった生徒たちが、これからも前を向いて突き進んでいってくれることを心より期待しています。学習内容や使用教材、各種検定について、ご質問・ご要望などありましたらお気軽にお声掛けいただければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。



麻生本校 011-716-7162
円山校 011-613-7755

<2021年 5月・6月の予定>QRコード
からHP上でご覧下さい。緊急時連絡は
ラインでお知らせ致します。

麻生本校 小中学部



円山校 中学部

